



特集

新入生歓迎!!

CONTENTS

- 2 学長挨拶
- 4 新入生へのメッセージ
- 5 課程主任紹介
- 6 新しい教育体制
- 8 Campus Diary / 県人会
- 10 先輩より新入生へのメッセージ
／サークルより新入部員募集
- 14 留学生行事
- 20 模擬国連
- 21 卒業生だより
- 22 NEWS
- 23 平成17年度就職状況等一覧
- 24 にいがたみてある記 / 編集後記



2006年10月1日
開学30周年を迎えます。



「自分で考える」

長岡技術科学大学長

小 島 陽

新入生の諸君，入学おめでとう。教職員を代表して，歓迎のお祝いを申し述べます。

昨年は例年になく早い時期からの降雪で，ここ長岡でも記録的な大雪に見舞われました。まだ，越後三山はじめ東山にも残雪が見られますが，ここ長岡は信濃川を見渡せる自然が美しく調和した地であり，四季がはっきりしています。喧騒な都会にある大学と違い，諸君が勉学するのには，好都合な環境にあります。これからの技大での数年間は，諸君の一生にとって，かけがえのない青春の時であるため，悔いのない，実りある学生生活を送ってください。

さて，本学は，今年の10月に開学30周年を迎えます。昭和51年に，実践的な技術の開発を主眼とした教育・研究を行う工学系の大学として，新構想のもとに設置されました。本学は，「技術科学」すなわち“技学”を創出し，それを担う創造的・実践的な技術者・研究者の養成を行い，またこれらを通じて社会との連携を図ることを基本理念として創設されました。大学のモットーはV O Sの精神，すなわち，Vitality（活力），Originality（独創力），

Services（世のための奉仕）です。

本学では，開学30周年を大きな節目として，次の時代へ乗り出そうとしています。この4月には，大学院博士後期課程に「生物統合工学専攻」が新たに加わり，今までの「情報・制御工学専攻」，「材料工学専攻」，「エネルギー・環境工学専攻」とあわせて4専攻となりました。これは，政府が施策する我が国の4つの科学技術重点分野をカバーすることになります。また，新たに，社会人対象の専門職大学院「技術経営研究科システム安全専攻」を開設しました。

これからは，人々を真に豊かにする安全・安心な社会を作り出さなければなりません。言うまでもなく，このためには，科学技術の正しい進展が不可欠であり，その社会を建設する担い手は，君たち若い諸君です。

昨今，J R福知山線脱線事故，耐震偽装事件，東横インの無断改築など大きな事故，事件が連日，新聞，テレビ等で報道されています。プロの職業人，経営者のモラル低下，モラルハザードが目立ちます。コンプライアンス（法



令順守)すなわち企業倫理が問われ、総じて世の中が鈍感になってきています。ささいなことに大騒ぎするわりには、社会の大切な原理が危機に瀕しているにもかかわらず、存外気にしない傾向が見られます。

社会の大切な原理を守るには研ぎ澄まされた鋭敏さが必要です。この鋭敏さを保持するためには、“考える力”が不可欠です。まず、自ら考えることで、それが判断と行動の基軸となります。マスメディアなど世の中の動きに惑わされることなく、自分自身で物事を考え、判断・行動しなければなりません。おかしいな、怪しいなと思うときは、自分で考える。このような習慣を身につけてください。今まで、小学校、中学校、高等学校、あるいは高等専門学校では、ややもすると先生、あるいは親の言うとおりにすることが善しとされ、言われるとおりに過ごすことが多かったと思います。これからは違います。大学では、手とり足とりでの指導はなされません。大学は自ら考え行動する諸君の手助けをするだけです。

本学は、研究面では、世界最高水準の大学

づくりを推進するため文部科学省が実施している『21世紀COE プログラム』で2件採択されています。教育面では、開学当初より実施してきた「実務訓練」が評価され、『特色ある教育プログラム(特色GP)』として選定されています。また、社会的要請の強い政策課題に対し、文部科学省が財政支援を行っている『現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)』にも選定されています。このように、諸君の勉学の方は整っています。

今日から、両親と離れ、新しい生活を送ることとなる諸君も多いと思います。特に、留学生諸君は、遠く故国を離れ、一人暮らしをすることになります。これからの大学生活に期待とともに不安ももたれていることでしょう。我々教職員スタッフ一同は、教育・研究のみならず、生活指導を含めて、最大限の努力をして、諸君の勉学・生活推進に協力します。

ここ長岡での数年が充実した日々となることを祈念して、入学式の祝辞と致します。



(+ 1)

理事・副学長

丸山 久一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、学部から大学院に、あるいは大学院修士課程から博士後期課程に進学した皆さん、進学おめでとうございます。本年度から、専門職大学院も開設されましたので、社会人で専門職大学院に入学した皆さんにもお祝いを述べます。さらに、ベトナムのハノイ工科大学からツイニングプログラムで入学した留学生の皆さんもいますね。言葉や文化が違う日本によく来てくれました。希望とともに不安も大きいと思いますが、未来に向かって、力強く一步を踏み出して下さい。入学・進学した皆さんの新しい門出に乾杯いたします。また、皆さんを支えているご両親、ご家族の方々にもお祝いを述べたいと思います。

普通高校から1年に入学した皆さんは、受験の追い込みで、2月の冬季オリンピックをゆっくり楽しむことはできなかったかもしれませんが、女子フィギュアスケートの荒川静香選手の金メダルは印象的でした。単に世界一になったということだけでなく、大きな挫折を乗り越えたこと、また、採点には関係ないと分かっているイナバウアーという演技種目をあえて取り入れて自分の個性を出したことに強く感動しました。2位、3位になった米国とロシアの選手も顔はよく覚えているのですが、演技はあまり思い出しません。一方、荒川選手の大きくのけぞった姿、その時ほほえんでいた表情はよく覚えています。さらに、表彰式で国歌が演奏された時、歌詞を口ずさんでいたことに好感を持ちました。

本学に入学・進学した皆さんの年齢はい

ろいろですが、年齢に関係なく、在学中に心がけて頂きたいことがあります。それは、皆さんにとってのイナバウアーは何であるかを見つめ、それに磨きをかけることです。言うまでもありませんが、皆さんが本学で身につけたいと思っている専門技術は、荒川選手のトリプルアクセルであり、華麗なスケーティングです。それは社会に出た時に勝負するための基本技術です。私の希望は、それに加える何か(+1)を心がけて頂きたいのです。それが個性につながり、自分の幅を広げることに繋がります。

本学も、国立大学法人になって3年目に入ります。国という親の庇護から独り立ちするための改革を徐々に進めてきていて、ようやく軌道に乗ったところです。世界は刻一刻と変化しています。その動向を素早くつかみ、いち早く対応することで厳しい競争に打ち勝って行かねばなりません。そのためには、本学としても、他の大学にない(+1)を確立してゆくことを目標としています。教職員は、学生の皆さんが勉学の成果を挙げられるよう、常に創意工夫をこらし、実行しています。大学全体としても、学生の皆さんや社会の人々の期待に応えるべく、教育・研究に加え社会貢献という面でも非常に活動的になっています。

新しいことに挑戦し、それを成し遂げたときに味わう達成感は、生きがいとして感じる最高のものです。新入生の皆さん! 私たち教職員とともに、勉学・研究・各種活動に積極的に取り組み、生きがいのある学園生活を送ろうではありませんか。

新入生の皆さんへ

各課程主任の紹介

課程主任は、学生の皆さんの修学指導や学生生活について指導助言を行うとともに、課程内の連絡調整を行うなど、課程を総括する先生方です。なお、この他に各課程には、クラス担当教員、アドバイザー教員が配置されていますので、各自で教員を確かめて、気軽に研究室などを訪ねてみてください。



建設工学課程

課程主任 長井 正 嗣

入学おめでとう。建設工学課程教員一同歓迎します。皆さんとともに、学部、修士課程と研鑽に励みたいと思います。学生時代には、やっておくべきことが多くあると思います。勉学に邁進され、実りある生活を期待しています。



機械創造工学課程

課程主任 岡崎 正 和

疑問のレベルは可能性のレベル！
新入生の諸君、ご入学おめでとうございます。皆さんはこれから、基礎勉強の後、研究室に配属になり、自分自身の課題を探究することになるでしょう。一級の研究成果をあげることは月並みの努力ではできません。しかし、一級の疑問、質問を持つことは誰でもできます。簡単です。好奇心を持てばよいのです。面白いことに「疑問のレベル=将来の自分のレベル」といえるでしょう。



環境システム工学課程

課程主任 佐藤 一 則

ご入学おめでとうございます。皆さんにとって、大学は社会へ出て行く直前のきわめて重要な通過点です。現代社会の複雑な環境問題に対処できる技術者を目指して、我々教員とともに自主的・能動的に学んで行くことを望んでいます。



電気電子情報工学課程

課程主任 和田 安 弘

ご入学おめでとうございます。希望と夢をもって入学されたことと思います。みなさんには無限の可能性があります。その扉を開ける“力”は“考える力”だと思います。この力を身につけるべく充実した生活を送ることを期待しています。



生物機能工学課程

課程主任 福本 一 朗

新入生の皆さん、長岡技科大生物機能工学課程へようこそ！ 私にも諸君と同じ学年の息子がおりますが、あなた方の御両親もさぞ誇らしく、お喜びのことと思います。この上は一人も欠けることなく、全員無事に修士（工学）号を得て御卒業されんことを祈っています。



材料開発工学課程

課程主任 小松 高 行

材料開発工学課程への入学おめでとうございます。皆さんを心から歓迎します。本課程は常に新しい物質・材料の設計、創製を目指しています。皆さん自身の手の中で社会に貢献できる物質・材料が生まれることを期待しています。



経営情報システム工学課程

課程主任 浅井 達 雄

新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。経営情報系の教員は、教養科目をも担当しています。皆さん全員と関係しています。経営のことが分かりグローバルに活躍できる技術者を目指し、一緒になってしっかりやっていきましょう。

安全・安心社会の構築には
システム安全の考え方の導入が望まれる。

安全・安心社会

安全教育

システム安全



専門職大学院・ システム安全専攻の新設

システム安全系長
武 藤 睦 治

本年度より大学院技術経営研究科システム安全専攻（専門職大学院）が新設されました。成熟した社会になればなるほど個人ならびに社会の安全・安心が重大な関心事・課題となります。日本の安全に関する文化は、安全教育に基づく個人の責任という立場に立っており、高度な教育により、これまで事故・災害の防止に大いに寄与してきました。しかし、テレビや新聞で頻繁に流される事故や災害の報道は、安全教育に基づく人間に頼った安全確保には限界があることを示しています。これに対し、人間はミスをするもの、機械類は故障・誤作動を起こすものとの立場に立ち、ミスや誤作動があっても、事故や災害に至らない安全な機械・装置あるいはシステムを構築するという考え方があります。皆さんも、後者の考え方が合理的であるとお考えと思います（付図参照）。

システムは「組織、人間、手法、材料、要素、装置、施設、ソフトウェアなどの複合体」です。システムの安全確保のためには、設計、製造、使用のすべての段階での災害・リスク要因の検出、評価、制御（除去）を行う必要があります。その災害、リスク及び

安全の解析プロセスに対し、安全規格・法規を基盤とし、安全技術とマネジメントを統合的に応用することを「システム安全（System Safety）」と呼びます。これまで日本で生じている事故・災害の約80%は、「システム安全」のアプローチが取り入れられていれば防げたという報告もあります。

本専攻設置の目的は、国内外の安全規格・法規の上に立ち、安全技術とマネジメントスキルを統合して応用する、「システム安全」に関する実務教育及び専門職の養成です。

本専攻の学生としては、実務経験が2年以上ある社会人を対象としています。これはシステム安全を考える上で、実務経験が重要との立場によるものですが、将来的にはできるだけ早い段階からシステム安全の教育が必要であろうと考えています。定員は15名です。システム安全に関する高度な実務能力を養うため、演習が多く取り入れられ、海外でのインターンシップも予定しています。また専任教員11名のうち6名が実務家の教員となっています。カリキュラムや教員のプロフィール等はホームページ（<http://mcweb.nagaokaut.ac.jp/system-safety/>）をご覧ください。2年間で46単位以上を取得することにより「システム安全修士（専門職）」の学位が与えられます。

これまでも経営リスクを取り扱うリスクマネジメントに関する専門職大学院等が他大学で設置されていますが、安全を取り扱う専門職大学院は本学が初めてです。本学にとって本専攻設置の持つもう一つの重要な点は、これまで本学は工学部・工学研究科といういわゆる単科大学でしたが、新たに技術経営研究科が加わり、複数の研究科を持つ大学に発展したことにあります。

安全実現の考え方

人に頼る安全	日本のこれまでの安全の考え方	安全教育主体 (災害・事故は人間の過誤に もとづく場合が多い)
人に頼らない安全	リスクマネジメントの考え方	社会システム、機械システム等いずれのシステムにおいてもリスクが存在しており、このリスクを許容できる範囲以下に低減する。
	システム安全の考え方	低減に限度のあるリスク、誤操作・誤作動があっても災害・事故に至らない安全システムを構築し、人的・経済的損失を最小限にする。



生物統合工学専攻の誕生

生物統合工学専攻主任
福田 雅 夫

生物統合工学専攻は博士後期課程の専攻として本年4月から新設されました。生命科学と化学・情報・環境科学を統合した新分野の展開を実現する専攻として誕生したばかりです。

バイオテクノロジーはこの数十年の間に、遺伝子工学、タンパク質工学、クローン技術、バイオレメディエーション、組換え作物、遺伝子診断、遺伝子治療、ゲノム創薬など、さまざまな新しい技術と科学を生み出してきました。このようなバイオテクノロジーの急速な成長は、バイオテクノロジー本来の分野である生命科学分野にとどまらず、さまざまな異分野を巻き込んで幅広い展開をもたらしつつあります。本専攻はこのような状況にいち早く対応するために、生命科学と化学・情報・環境科学を統合した技術を開発できる人材の育成を目的として設置されました。生命科学・化学・情報・環境科学などの分野を専門とするスタッフが連携し、生体分子機能工学、細胞機能工学、生体システム機能工学の3分野に分かれて、以下の研究ならびに教育を進めます。

「生体分子機能工学」分野

新規生体高機能分子の設計と創出のための技術の開発を進める分野で、タンパク質などの生体機能分子やゲノム情報の解析による生体分子機能の活用・新規設計、生理機能関連天然高分子の複合化や生物素材のハイブリッド化による機能性材料の創出、構造形成・物性発現機構解析による高機能性高分子材料の開発をめざします。タンパク質の解析から設計までを行える人材や、生体分子と有機・無機化合物に関する高度の技術と広い学識を持つ人材を育成します。

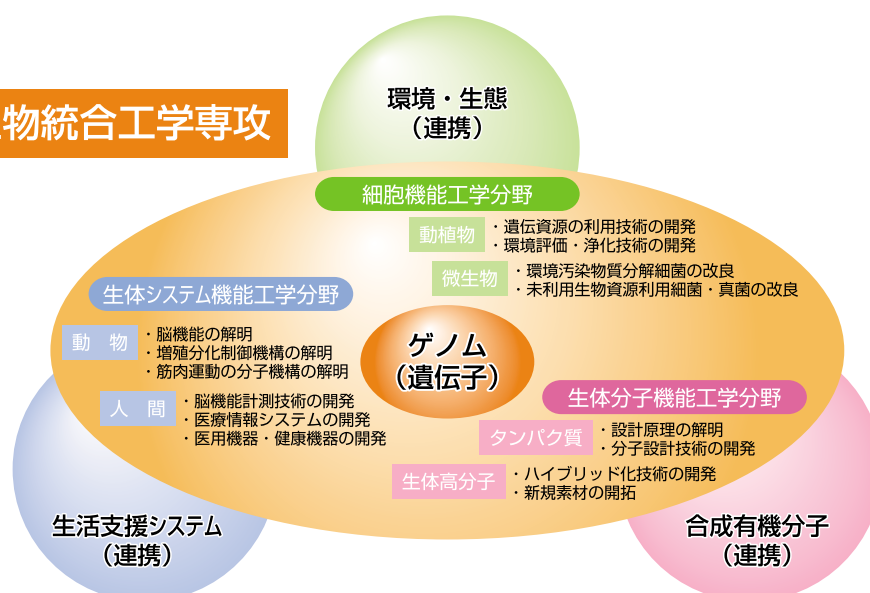
「細胞機能工学」分野

安全かつ安心な環境を持続する技術の開発を進める分野で、生物の細胞機能を利用して人間生活や地球環境を改善するため、環境浄化やバイオマス利用の研究と技術開発、酵素生成の調節機構解明と応用、環境評価と保全及び遺伝資源の保護に向けた技術の開発をめざします。持続型社会の実現に携わる人材や、ゲノムから生態学まで広い視野を持つ人材を育成します。

「生体システム機能工学」分野

高次生体機能の解明と医療、福祉を向上する技術の開発を進める分野で、知覚、情報処理、環境適応などの生体高次機能を解明して工学に応用し、得られた技術を医療・健康・介護福祉に応用して医学と工学を複合した技術を開発する人類の福利に貢献する新分野です。ヒトや動物の高次生体機能とコンピュータの機能を統合する力を持つ人材や、医療・福祉分野のシステム構築や機器開発に携わる人材の育成をめざします。

生物統合工学専攻



学生
行事

1 休講措置を伴う学生行事

- 第26回技大祭
準備・前夜祭 9月29日(金)(休講)
本祭 9月30日(土)
本祭・後夜祭 10月 1日(日)
後片付け 10月 2日(月)(休日)

2 休講措置を伴わない学生行事

- 25回運動会 5月20日(土)
6月10日(土)
(雨天の場合6月17日に延期)

学事
日程

第1学期 (4月1日～8月31日)

- 春期休業 4月 1日(土)～ 4月 4日(火)
- 入学式 4月 5日(水)
- ガイダンス 4月 5日(水)、4月 6日(木)
- 授業開始 4月 6日(木)
- 【学部2,4年及び大学院】
4月10日(月)
- 【学部1,3年】
7月27日(木)
- 授業終了 7月28日(金)～ 8月31日(木)

第2学期 (9月1日～12月31日)

- 授業開始 9月 1日(金)
(但し、10月4日(水)及び10月10日(火)は
通常の月曜日の授業日とする。)
- 開学記念日 10月 1日(日)
- 開学30周年記念式典 10月 1日(日)
- 授業終了 12月22日(金)
- 冬期休業 12月25日(月)～12月31日(日)

第3学期 (1月1日～3月31日)

- 冬期休業 1月 1日(月)～ 1月 7日(日)
- 授業開始 1月 9日(火)
- 集中講義等終了 1月31日(水)
- 授業終了 2月28日(水)
- 卒業式・修了式 3月26日(月)
- 春期休業 3月27日(火)～ 3月31日(土)

県

人

会

大阪府人会

大阪府人会

～新入生歓迎会～

4月21日(金曜日)
PM6:45集合⇒花月

大阪出身の方、大阪にゆかりのある方、
誰でもOKですので
参加希望者は下記までお願いします!!
連絡お待ちしております!

建設工学課程4年 星野
TEL 090-〇X△□-〇X△□



機械創造工学専攻2年
宮上 和也
(大阪府立高専出身)

「県人会」ってご存知ですか？普段はあまり聞きなれない言葉だと思います。「県人会」とは同じ県の出身者が集まって行う飲み会やイベントのことです。技大には全国各地から学生が集まっているので、色々な県人会があります。地元の学校ではない大学ならではの催しではないでしょうか。

私は大阪府出身なので「大阪府人会」に参加しています。「大阪府人会」では年に4回の飲み会を行っています。たいていは大阪府出身のおばちゃんが焼いてくれるお好み焼



▲ 新入生
合宿研修 ▶



▲ 長岡まつり



◀ 運動会



▲ 球技大会



▲ 技大祭 ▲

き屋に行きます。大阪の味を皆ではおぼりながら楽しく会話をします。

大阪府出身者ならば誰でも参加でき、系も年齢もバラバラで多くの方が参加しています。他の系の方や先輩方との貴重な交流の場なので、新しい友達や先輩と会うことができ人脈が広がります。また、技大で生きぬくために重要な、過去の試験や実務訓練、研究室などの情報も教えてもらうことができます。

大阪のローカルな話題ができるのも魅力です。後輩の話を聞くことで出身校の現状がよく分かります。また、阪神が優勝したときは皆で盛り上がります。阪神ファンである店のおばちゃん、そのときにはサービスしてくれます。

4月頃になると講義棟の掲示板には様々な「県人会」のポスターが張り出されます。自分の出身県のポスターを探してみたいかがでしょうか？





新入生のみなさんへ

クラブ連絡会会長・生物機能工学課程3年

和田 拓也

(日本文理高校出身)

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます！

これから皆さんは新しい生活を始める訳ですが、この機会にサークルに参加してみたいか？本学には体育系29、文化系16の合わせて45ものサークルがあります。この実に多様なサークルの中には皆さんの興味を引くサークルがきっとあると思います。そして少しでも興味がわいたなら、見学だけでも行ってみるといいと思います。きっと温かく迎えてくれることでしょう。同じ趣味を持った仲間との出会い、同じ目標を持って努力していく仲間との出会いは皆さんの学生生活をよりすばらしいものへと変えてくれるはずです。

また、クラブ連絡会では春に球技大会、看護学校との合同運動会等を催しています。こういった行事も皆さんの学生生活により潤いを与えてくれるはずです。是非、参加していただき仲間との友好を深めていただきたいと思います。

Circle サークル一覧

平成18年度

サークル一覧

体育系（29団体）

- | | | |
|----------------|------------------|------------|
| 1. サッカー部 | 11. バドミントン部 | 21. 実戦空手道部 |
| 2. 硬式テニス部 | 12. 釣り部 | 22. スキー部 |
| 3. ラグビー部 | 13. 卓球部 | 23. 弓道部 |
| 4. 剣道部 | 14. 準硬式野球部 | 24. 水泳部 |
| 5. 自動車部 | 15. アメリカンフットボール部 | 25. 山野草会 |
| 6. 柔道部 | 16. ソフトテニス部 | 26. ヨット部 |
| 7. 陸上競技部 | 17. 少林寺拳法部 | 27. 大自然部 |
| 8. バレーボール部(男子) | 18. サイクリングクラブ | 28. フットサル部 |
| 9. バレーボール部(女子) | 19. 山岳部 | 29. スノボー部 |
| 10. バスケットボール部 | 20. 合気道部 | |

文化系（16団体）

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 吹奏楽部 | 6. しゅがく | 11. How to ART |
| 2. 無線部 | 7. アーケードゲームラボラトリー (AGL) | 12. 知音サークル |
| 3. ポピュラーミュージッククラブ (PMC) | 8. 航空部 | 13. 模型部 |
| 4. 茶道部 | 9. 悠久太鼓愛好会 | 14. ベンチャークラブ |
| 5. 理科学研究会 | 10. 長岡技術科学大学 青年赤十字奉仕団 | 15. 写真部 |
| | | 16. English Speakers League (ESL) |

新入部員募集

サッカー部

機械創造工学課程4年 石村 裕幸
(小山高専出身)

まずはご入学おめでとうございます。

僕たち、サッカー部は主に4月から11月の間にグラウンドや体育館で練習を行い、週末には試合を行っています。年齢に関係なくみんな仲良く、サッカーが好きな人達ばかりです。

また、試合ではみんながそれぞれ意見を出し、勝利できるように一生懸命がんばっています。

経験に関係なく、サッカーが好きな人、これから始めてみたい人は入部してください。

マネージャーもいますので、女の子も大歓迎です。



7月県リーグ最終節

先輩より 新入生へのメッセージ

新入生へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
 これからの新しい環境での生活や勉強に、期待と同時に不安もあることと思います。さてそこで、平凡な一技大生である私からのアドバイスです。私の実感としてですが、なにとはともあれまず良い友達をたくさん作ることが楽しい大学生活への一歩です。本学には全国各地、さらには世界中から多くの人たちが集まってきます。文化や価値観の違う方々と交流を持ち、話を聞くことで、考え方の変化や新しい発見があると思います。また、余裕がある人はサークルに積極的に参加してみてもはどうでしょうか。他課程の方と知り合えることはもとより、先輩とのつながりを持つといろいろと貴重なアドバイスを頂くこ

とができると思います。

次に勉強面についてですが、大学の講義は高校の授業とは大きく異なります。私もそうでしたが、自分でどの講義を受けるかを選択することに戸惑いを感じると思います。まずは進級に必要な単位数と科目を把握し、その上で興味のある講義を受けると良いでしょう。

最後になりますが、皆さんは何かしら目的を持って、数多くの大学の中から技大を選んだことと思います。漠然と毎日を過ごすのではなく、この大学で自分は何をしたいのかを時々考えると有意義な大学生活を送れるのではないのでしょうか。それでは皆さん、長岡の不安定な気候に負けずに頑張ってください。



機械創造工学課程 4年
 高橋 直幸
 (長野工業高校出身)

ポピュラーミュージッククラブ (PMC)

電気電子情報工学課程 4年 佐々木 幹 人
 (旭川高専出身)

新入生のみなさんこんにちは。PMCでは、バンドを組んで音楽活動をやりたい人、音楽の好きな人、新たな気持ちで何か始めようという人を募集します。PMCの活動内容は、各バンドごとに練習を重ね、年に5回ほどあるPMCライブにて練習の成果を発揮するというものです。また、PMC内にはオリジナルバンドを組み、ライブハウスを中心に活動している人達もいます。

楽しいサークルなのでみんなで音楽を楽しみましょう！



アメリカンフットボール部

電気電子情報工学課程 4年 森 谷 拓 郎
 (山形工業高校出身)

私たちアメフト部は春と秋に行われる大会に向け、社会人と合同で主に週末を中心に練習しています。

全員が大学から始めているので部員同士の仲も良く、ポジションなども個人の希望を一番に考えて決めています。

アメフトは激しいスポーツですが、それだけ達成感ややりがいがあります。アメフト部は大学生活でスポーツに挑戦したい人、体を鍛えたい人などやる気のある人を大募集しています。



新入生へ

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

皆さんは期待や不安など、さまざまな気持ちを持ちながらここにいると思います。大学生活は高校、高専と全く違い、自らの学びたい講義をある程度選択できるため、最初は戸惑ったりすると思いますが、なるべく、興味のある講義、将来自分のためになるような講義を選んで楽しく学んでください。大学の講義は少し難しいかもしれませんが、社会へ出てからの問題とは違い、講義で出る問題には必ず答えがあります。その答えも今まで高校、高専で学んできた内容を基礎にすれば導くことが出来るはずなのでがんばってください。

また、高校、高専に比べ、学部時代は自由に使える

電気電子情報工学専攻2年

保 高 智 昭

(長野高専出身)



る時間、色々なことに挑戦できる時間が増えると思います。この時間でさらに勉強をすることも出来ますが、サークル活動や外部ボランティアへの参加、アルバイトなどを行い、自分の学部以外に、できれば技大以外にも人脈を作れるような活動をすると思います。講義室と自宅や寮との往復だけで大学生活を終わらせるなんてことはないようにしてください。行動を起こすことで、それに見合うだけのものを得ることが出来ると思います。

新入生の皆さんが一日一日を大切に充実した学生生活を送れるよう祈っています。

新 入 部 員 募 集

準硬式野球部

環境システム工学課程4年 西 海 祥 次
(埼玉県立秩父農工科学高校出身)

大会前の5～10月に技大野球場にて活動中です。

平日：16:30～18:30 休日：13:00～16:30

最初は体験入部からでもOKですし、未経験者も大歓迎です!!

現在、3年生は2名のみ、4年生が引退すると廃部の危機で、マネージャーが1人もいません…(涙)

野球に少しでも興味ある方、まずは連絡を下さい!

MAIL: west_blue_-soul_road-@docomo.ne.jp



バスケットボール部

建設工学課程4年 尾 口 佳 文
(宮城県工業高校出身)

バスケットボール部の活動を紹介します。私たちは、学生リーグ、日報杯などいろいろな大会にむけて練習しています。部員は年齢を問わず、いろいろな世代がいます。練習は基礎を中心として行い、練習の最後に5対5のミニゲームや、人数が足りないときなどは、3対3や2対2などを行っています。

どんな人に入部してほしいかというと、体を動かしたい人、バスケをしたい人、バスケがうまくなりたい人などですが、とりあえず「うまい、下手抜きで運動がしたいという人」をバスケ部で待っています。



普段の練習風景

先輩より 新入生へのメッセージ

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今、期待や不安が入り混じった複雑な思いをしていることでしょう。大学は勉強を教えてもらうのではなく自ら学ぶ場所です。また、生活に関することすべて自分でやっていかなければなりません。しかし逆に言えば自分の好きなように時間を使うことができます。まだ始まったばかりで余裕は無いかもしれませんが、何かしら在学中に達成したい目標を立ててそれを実現するために行動してみたいかがでしょうか。例えば資格を取るために勉強するとかスポーツの大会で好成績を収めるために練習するといったことでも良いでしょう。私は結構漫然と過ごしていたので今考えると、もったいないことをし

たな、と思うことがあります。学問はもちろんのこと、スポーツや遊び（これは程々に！）にも多くの実りある大学生活にしていきたいと思います。大学時代に多くの経験を積んだことが社会に出たときにきっと役立つと思います。

それから重要なのは良い友人を作ることです。入学当時の私を不安から救ってくれたのは新たにできた友人たちでした。長岡に来てもう5年になりますが、今でも友人たちの存在が学生生活における心の支えになっています。

知識も技術も楽しみも喜びも自分で行動しなければ手に入りません。皆さんは是非アクティブに、実りの多い大学生活を送ってください。



材料開発工学専攻2年
野崎 太郎
(青森県立五所川原高校出身)

新 入 部 員 募 集

バレーボール部（女子）

経営情報システム工学課程4年 藤 由 安 耶
(新潟商業高校出身)

女子バレーボール部は、毎週水曜日に体育館で練習を行っています。主な大会は、年に2回開催される9人制の市民大会です。また、大会の他にも、ビーチバレーボール大会等の各種イベントを男子部と合同で行っています。女子バレーボール部は、みんな仲がよく、先輩も優しい人ばかりなので、楽しく活動することができます。経験者の方はもちろん、初心者の方も大歓迎です。女子バレーボール部に入部すれば、大学生活が100倍楽しくなること間違いなしです！皆さんの入部をお待ちしております！！



秋季市民大会（in市民体育館）に出場しました。

弓道部

機械創造工学課程4年 萩 野 谷 剛
(茨城県立水戸桜ノ牧高校出身)

弓道部です。

活動時間は月、火、金曜日の17時～20時です。

活動内容は一般大会や昇段審査、学生大会への参加があります。また、部内での花見やバーベキュー、飲み会なども行なっております。

現在の部員の半数以上は大学から弓道を始めておりますので、少しでも弓道に興味がある方はぜひ弓道場までお越しください。

4月の平日は毎日練習をしておりますので、弓道の経験の有無に関係なくぜひ見学にお越しください。



新入生歓迎!!

留学生の皆さんへ

留学生年間行事

4 April

・バザーと新入生歓迎会（むつみ会主催）

5 May

・バス旅行（むつみ会主催）

6 June

・座禅（むつみ会主催）

7 July

・国際親善交流の夕べ（深才公民館主催）
・送別会（むつみ会主催）

9 September

・外国人による日本語スピーチコンテスト（むつみ会主催）

10 October

・バザーと交流会（むつみ会主催）
・外国人留学生等実地見学旅行

11 November

・長岡市めぐりバスツアー（長岡市国際交流協会主催）

12 December

・留学生等交流懇談会
・国際交流の夕べ（新潟地域留学生等交流推進会議主催）
・長岡国際祭り（留学生会主催）

1 January

・ホームステイ

3 March

・外国人留学生と日本人学生の交流スキー研修
・送別会（むつみ会主催）

先輩留学生より 新入留学生へのメッセージ

第2の故郷へようこそ！

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんの御入学を心より歓迎いたします。新しい環境に慣れるには多少時間がかかり、戸惑うところがあるかと思いますが、しかし、これから皆さんは、様々な驚きと感動と出会い、益々人生観が豊かになっていくでしょう。

長岡は米百俵の精神で有名であり、人材教育に非常に熱心な都市です。本学では我々の勉強の視野を広げ、研究を極めるには最適なインフラやサービスが用意されています。特に留学生の場合は、様々な生活支援や交流イベントが準備されています。是非、このような貴重な機会を見逃さずに、参加して下さい。我々留学生にとっては長岡が第2の故郷であり、これから大変貴重な人生の

情報・制御工学専攻3年
キマラ ヴィラニー
(ラオス出身)



一部をここで過ごすことになります。勉強や研究だけでなく、流れる季節を楽しんで、異文化に対する理解を深めましょう。そして、自分の国の文化、料理、習慣等に誇りを持って、皆と一緒に共有しましょう。

授業のシラバスは比較的に柔軟性が高く、選択肢が多いため、皆さんの将来設計や好みによって受講すると良いでしょう。困ったときには、他の留学生、担当の先生、国際課とむつみ会の皆さんに相談すると心温かい対応してくれます。参考書などが図書館に数多く揃っているので、有効に活用しましょう。皆さんの今後のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

新入部員募集

スノーボードサークル

生物機能工学課程3年 松嶋 貴仁
(鹿児島県立出水高校出身)

技大スノーボードサークルは、ワンメイク・フリーラン・ジブ etc...styleの違う人達が集まり、楽しく滑ろうというサークルです。

はまっている人でも、これから始めようとしている人でも、男女関係なく大歓迎です。

ミーティングは、月曜の昼休み・学生ホールで行っています！

入部希望者は下記まで「件名」付で連絡をください！

部長 山谷幹樹（環境 M1）

MAIL : hige-oyaji-chiku-chiku.com@docomo.ne.jp



留学生のホームステイ体験記 ホームステイの感想

電気電子情報工学課程 4年
陸 鴻
(中国出身)



ホームステイは外国人にとって、現在の日本人の生活を理解する一番いい機会である。今年の年末はやっとホームステイに参加できた。

中国人は旧暦の年末はできるかぎり、地元に戻って、親戚と一緒に、年末年始を過ごす。日本にきたら、日本人も年末年始に地元に戻って、親戚と一緒に、新年を迎える習慣があることが分かった。今回のホームステイはちょうどこの時期で、日本人の新年を迎える習慣をみる一番いいチャンスである。前の年はいろいろな原因で、このような活動に参加できなかった。

31日の午後、ホームステイ先の奥さんは私が住む場所に

迎えに来てくれた。その時、緊張と興奮した気持ちが胸の中にいっぱいだった。なかなか忘れることができない。

中国にいる時に、日本の男の人は家事を全然しないことを聞いた。しかし、今回のホームステイ先の一家は奥さんは食事を作る、主人は食事後の片付けの担当である。これを見て、男女の家事関係は日本で少しずつ変わったことがわかった。これだけではなく、日本の年末に家に安置した神様や仏壇などに対して、お掃除する。その日に泊まった家は、神様と仏壇だけを掃除した。神様に安置したものは新年の始めの日に、神社に行って、神様の前で燃やす。安宅神様を安置する所は三つあるのに、すべての名札は同じ場所に安置する。

それを見て、中国のことを思い出した。中国も前は、家で男の人は何もしないで、すべてのことは女の人をした。そして、昔中国人も家に仏壇を安置し、年末年始の時期も、先祖や神様の前で物やお金などを燃やす。幼い頃、お爺さんのうちで見たことがあった。しかし、最近の都市の人はこのようなことをしなくなった。そのやり方もよく分からなくなった。

今回ホームステイで、中国と同じことを日本でも経験した。それは偶然な事ではない。それは世界発展の結果だと考えた。

留学生等スキー研修報告 スキー旅行に参加して

機械創造工学専攻 2年
イエ トウト ソー
(ミャンマー出身)

私はトリノオリンピックのスキーの試合をテレビで見て、スキーを滑ってみたいと思いました。

私の国では雪が降らないですから、スキーを滑ることができません。技大の行事で初めてスキー旅行に行くことができました。

2月28日と3月1日に、国際課の人たちと留学生57人がバス2台で舞子スキー場へ行って練習しました。雨も雪も降らなかったのでも良かったです。舞子スキー場はとてもきれいでした。

私たちはインストラクターにスキーの基本的な滑り方を教えてもらいました。最初の日には難しくとても疲れました。フリータイムの時に自分で練習してみると何回も転びました。いくら転んでもまた立って練習しなければうまく滑れない

ですから、たくさん練習をしました。しかし、その日はまだまだ上手に滑れませんでした。

舞子ホテルの晩ご飯はたくさんご馳走が出て、私たちも疲れていましたから、たくさん食べました。夜遅くまで休まないで友達と話したり、写真を撮ったりしていました。

次の日ではまた、インストラクターに曲がる方法も習ってどんどん滑れました。山の上まで行って滑ることができました。自分で何回も山の上に行って練習しました。とても楽しかったのでもたスキー旅行に行きたいと思っています。



スキー場にて(筆者は左から二人目です。)

新 入 部 員 募 集

フットサル部

電気電子情報工学課程 4年 岡 部 将 志
(釧路高専出身)

私達フットサル部は一昨年に発足したばかりの大学院1年、学部4年が主体の部です。主な活動内容は、週2回体育館でミニゲーム中心の練習を行い、1ヵ月に1回程のペースで県や地域主催の社会人の大会に参加しています。部員の

約半数は大学までフットサル、サッカー経験がない者ですが、そんな経歴など関係なく純粋にフットサルを楽しんでいます。その反面、部員の約半数がサッカー、フットサル経験者なので活動自体のレベルもそれなりに保たれております。その結果、大会でもかなりの好成績を残しています。ですのてただ純粋にフットサルを楽しみたい初心者、自分のレベルを上げたいと考えてる経験者、どちらも大歓迎です。



建設工学専攻2年

伊原 章正

(鳥取県立米子工業高校出身)

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
私は、本学に入学し今年で6年目を迎えました。実家の鳥取から長岡へ足を踏み入れたことをついこの間の事のように思います。そのときは、希望よりも不安や初めて親元を離れるという寂しさのほうが大きかったです。そんな不安や寂しさを払拭してくれたのが、同学年の友達やサッカー部の先輩たちでした。同学年の友達は、入学してまもなく、合宿研修があるのでそこで出来るだけ積極的に動いて多くの友達を作ってください。また、サークルには、出来る限り参加してください。サークルの先輩は、講義内容や単位取得に関することなど多方面にわたりアドバイスをくれると思います。

講義内容については、高専や高校のときとは違い内容の多さに戸惑うかもしれませんが、すぐに慣れると思います。大学という場所は、ご承知のとおり大変自由なのでくれぐれも授業の休みすぎには注意してください。学業に励むと同時に、自由な時間を使って色々なことに挑戦してってください。そうすれば、充実した学生生活になるように思います。

最後に、新入生の皆さん、時間を大切にして充実した学生生活を送ってください。

新 入 部 員 募 集

硬式テニス部

電気電子情報工学課程4年 織田 健志
(静岡県立御殿場南高校出身)

硬式テニス部には過去にテニスの経験のある人だけでなく、大学から始めた人もたくさんいます。積極的に試合に出ている人もいれば、テニスを純粋に楽しみたい人、覚えたい人など様々です。試合に出る人は市の大会だけでなく、県の大大会、大学の試合にも積極的に取り組んでいます。部全体の雰囲気としては、練習中も笑いの絶えない非常に明るい部活で、練習中だけでなく飲み会の場なども明るくとても楽しい部活です。新入生のみなさん、是非1度コートまで、気軽に足を運んでみてください!!



合気道部

電気電子情報工学課程4年 勝又 洋樹
(仙台電波高専出身)

「合気道」と聞いても、今ひとつピンと来ない方がほとんどだと思います。合気道の特徴は、相手を倒すことではなく相手を「制する」ことを目指す武術である、ということです。そのため「和の武術」とも言われています。

合気道には試合がありませんし、大学から始めた人がほとんどですので初心者の方でも大丈夫です。また、合気道は護身術としても知られていますので、女性の方にもお勧めです。武道に興味がある方、ちょっと運動がしたい方、袴をはいてみたい方、一度見学に来てみてください。



先輩より 新入生へのメッセージ



環境システム工学課程3年

内藤 夏美

(新潟清心女子高校出身)

充実した大学生活を

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2年前の今頃、私は初めて親元を離れ、1人暮らしができることへの期待と喜びで一杯でした。皆さんはいかがでしょうか？恐らく、新しい環境での生活に、期待や不安で一杯かと思います。これから、楽しく、時には厳しい大学生活が待っているわけですが、自分らしい充実した大学生活を送って欲しいと思います。私はまだ3年目で皆さんへメッセージを送れる立場ではありませんが、2年間で私が感じた事をお話したいと思います。

皆さんご存知のように、大学はとても自由なところです。勉強するもしないも自身の責任です。しかし、大学にきた意味を考えてみてください。大学で“何を学んだか”がとても重要になると思います。一生

の内の数年間かもしれませんが、過ごし方によってはとても貴重な数年間になると思います。もし、行き詰まることがあっても心配いりません。先生方、先輩方はとても親切にアドバイスをくださいます。また、勉強ばかりでなく、サークルに参加したり、アルバイトなど社会に出てみることも大切だと私は考えます。学校以外の自分の時間をどう使うかで大学生活も変わってくると思います。是非、様々な事に興味を持ち、やりたい事を思う存分やってみてください。

卒業する時に技大に来てよかったと思えるよう、目標をしっかりと持ち充実した大学生活を送ってください。お互い頑張りましょう。

新 入 部 員 募 集

少林寺拳法部

機械創造工学課程4年 秋 善 康
(西大和学園高校出身)

新入生の皆さん入学おめでとうございます。少林寺拳法部は、体育館内の武道場で活動しています。少林寺拳法とはパンチやキックといった打撃系の技だけでなく固めなどの関節技もあるところや、筋力を使わずにスピードによって威力を出すことを目的としている拳法です。経験者はもとより、初心者でも大歓迎です。興味のある方、ぜひ一度練習を見に来てください。



悠久太鼓愛好会

機械創造工学専攻1年 荒 井 潤
(群馬高専出身)

悠久太鼓愛好会は、長岡を拠点にしている和太鼓集団です。夏の長岡祭り、秋の米百俵祭、冬の雪しが祭りにも参加しています。その他、老人福祉施設の祭や近隣町内会の祭にも積極的に参加しています。

悠久太鼓愛好会の活動では、誰でも舞台に立つ機会があります。和太鼓に興味を持った方なら初心者でも玄人でも大歓迎です。全国から技大に集まった仲間と太鼓を叩いてみませんか？

活動は毎週水曜、PM4:30~7:00、課外活動共用施設で行っています。



時を上手に使っていこう！

新入生の皆様、このたびは御入学おめでとうございます。学部1年に入学し博士まで誤って(?)進学してしまい、ある種この学校の主と化してきた私からちょっとしたアドバイスをさせていただこうと思います。

大学というところは学生の自主性が問われるところです。例えば、学校側は授業を行い、皆さんに知識を提供してくれますが、皆さんには授業に出る義務なんてものは存在しませんので、参加しようがしまいが皆さんの勝手です。従って、なんとなく流されて時を過ごし、学期末にふと出席日数が足りていない事に気づきました、なんて事にもなりかねません。そういうことにならないために、はっきりとした目

情報・制御工学専攻5年

石丸光子

(長岡高校出身)



標を立てましょう。ストレスで良いから進級できる程度に単位を取る、とか、将来どんな研究をしたいか考えてそれに関連している授業だけはきっちり参加するとか、自分に合った目標を立てましょう。さしあたって、学部1年で一般入試から入って来られた方は、入りたい学科を早めに決めてそこに配属されるように勉強を頑張ってみたらいかがでしょうか。

大学生活では限りなく自由な時間が貴方に委ねられます。目標を持って、それを達成できるように計画を立てて、時間を有効利用してくださいね。この大学で楽しく有意義な‘濃い’学生生活を過ごせるよう願っています。

新入部員募集

陸上競技部

材料開発工学課程3年 谷澤圭佐
(新潟県立新津高校出身)

陸上部では春と秋の北信越大会や秋のロードレースを中心に様々な大会に出場しています。部内には走ることに、投げることに、跳ぶことに、さらには飲み会やレクリエーションなどを通じて大学生活を楽しもうという人が集まっています。サークル活動の中で自分なりの目標を決めて、それに向かって努力していくことで大学生活にもいいリズムをもちたることができると思います。陸上競技未経験の方、マネージャー志望の方も大歓迎です。気軽にグラウンドに足を運んでみてください。



English Speakers League (ESL)

経営情報システム工学専攻2年 岡田美江
(福島高専出身)

新入生の皆さん、ようこそ技大へ。私達は英会話を楽しむクラブ、ESLです。皆さん英語は好きですか？私は英単語を覚えるのがもう歳のせいかな？苦手です。でもせっかく中学から勉強してきた英語を、旅行やTOEICに繋がりたいと思いませんか？

ESLではどうせやるなら楽しく！をテーマに昨年は1人1～3役をこなし英語劇に挑戦しました。出演者、お客さん共に楽しめたと思っています！今年も「英語を使う楽しさ」を追いかめようと思っていますので、Why don't you join us!?



技大祭での英語劇の様子

先輩より 新入生へのメッセージ

学生生活のアドバイス

私は3年前に長岡技大に入学しました。ここでは、3年間の学生生活を通じて、私なりのアドバイスをしたいと思います。

まず、皆さんは様々な不安や希望を胸に入学すると思いますが、不安なのは最初の1ヶ月だけです。新しい友達や先生と出会い、授業にも慣れてくると、不安はいつの間にか吹き飛んでしまいます。ですから、安心して長岡技大に来てください。

また、長岡技大には、皆さんが学習するのによい環境が整っています。図書館は夜9時まで開いていて、勉強に必要なたくさんの本や資料がそろっています。メールやインターネットを利用するためのパソコン室もあります。自分の学習したいこと、興味のある

経営情報システム工学課程4年

木口拓海

(松本工業高等学校)



ことについてとことん勉強出来ます。また、豊富な知識を持った先生方もたくさんおられ、いつでも質問に応じてくださるので、分からないことはどんどん聞きましょう。

そして、長岡技大の名物を一つ紹介します。それは、第一食堂の「油そば」です。一度食べたらクセになる人、拒絶反応を起こす人など意見が分かれますが、食堂の人気メニューですので、皆さんもぜひ一度食べてみてはどうでしょうか？

新入部員募集

しゅがく

電気電子情報工学課程4年 藤井宗史
(舞鶴高専出身)

しゅがく部は、新潟の文化の一つである日本酒の魅力を知り、楽しむことを活動目的としています。

「しゅがく」には、酒を学ぶ、酒を楽しむ、顔を朱にして楽しむ、など様々な意味が含まれます。

月一回の定例会、技大祭での振る舞い酒、利き酒、酒蔵見学などを通して「しゅがく」の概念を実践しています。

バレーボール部 (男子)

経営情報システム工学課程4年 田中正樹
(育英高専(現サレジオ高専)出身)

毎週、火、木、金の週三回体育館にてバレーが大好きな人達が集まって汗を流し「楽しバレーボール」をモットーに楽しく練習しています。基本的な練習から応用的な練習まで、幅広い練習が出来るように練習メニューを考えて練習を行っています。

とにかく、バレーボールが大好きな人を大募集しています。週三回でなくても週一回、月一回でもいいので、とにかくやる気があってバレーが大好きな学生をバレー部一同心よりお待ちしております！

バドミントン部

環境システム工学課程4年 村田 洸
(鶴岡高専出身)

バドミントン部の活動日は、月・火・木の週三回活動しています。活動時間は19時から活動しています。現在の部員数は男性28人、女性6人で活動しています。

技大に入学してから始めた人もかなりいるので、経験者はもちろんの事、初心者もぜひ一度部活に来てみてください。初心者の人には先輩達が優しく教えてくれます。

ちょっとバドミントンやってみようかなと言う人はぜひ技大に入学したら体育館に遊びに来てみてください。バドミントン部員全員で心よりお待ちしております。

茶道部

電気電子情報工学課程4年 森竹典子
(宮崎県立佐土原高校出身)

茶道部は、週一回茶道の先生宅で活動しています。また、年に数回あるお茶会に向けて大学にある和室で練習することもあります。

茶道をやったことのない方も、経験者も大歓迎です。4、5月は学内の福利棟2階にある和室で活動しています。ぜひ気軽に見学に来てみて下さい。



本学学生が ハーバード模擬国連大会に参加!

模擬国連とは?

世界で起きている複雑な問題を解決し、平和や安全を維持するために国連が存在し、各国の大使は国益や世界の利を追求しながら議論する。模擬国連とは、実際の国連会議さながらの内容を各国大使に扮して行うことである。模擬国連の歴史は、1923年に米国のハーバード大学で開催された「模擬国際連盟」に遡り、日本では1983年に緒方貞子氏によって始められた。ハーバード大会は毎年2月に行われ、世界各国から3000人近くの学生が集まる世界最大規模の模擬国連大会である。近年、日本からハーバード大会へ参加しているのは本学ただ一校のみである。現在、日本の模擬国連に関する実態は、首都圏を中心に全国で400名程の政治・経済、国際情勢について学が学生たちが活動を行っているが、工学部の学生は殆どいない。



模擬国連に参加して

機械創造工学課程 4年
竹内 公英
(豊田高専出身)

本学の模擬国連への参加は、一昨年から数え今年で3回目となるが、参加メンバーが毎年入れ替わるため、次の年にあまりノウハウが活かされることがなかった。この活動をこれからも大学で続けたいと考え、昨年10月に模擬国連サークルを発足させた。サークルとなったことで、誰でも参加でき、1年を通して様々な活動を行い、学生でしか得られない充実感、楽しさを味わえる仕組みができた。また、今後の活動を改善しながら、来年以降もこの大会に継続参加することにより、本学の伝統事業となれば、国際的な視野を持ち、問題解決能力やコミュニケーション能力の高い学生が育っていくに違いない。

さて、本題に戻るが、今年は4名の留学生を含む12名でハーバード大会に臨んだ。サークル活動開始後、定期的なミーティングや英語の勉強会を行ってきたが、メンバーにとっては初めての英語の模擬国連大会であり、とても緊張し、不安な面持ちで挑戦することになった。会議は、時に専門的な用語や細かいニュアンスの単語で議論が進められた。内容を深く捉えることが出来ず、議論に入ることさえできない



会議の様子

場面も多々あった。しかし、理解したい、伝えたいという気持ちを胸に、大会中にできた友達や隣の席の人に詳しく内容を教えてもらい、会議に参加することができた。

ハーバード大会は大変。模擬国連を知っている誰もが思うことである。英語での議論だし、世界のエリート学生が集まってくるのだから。しかし、この壁に挑んだメンバーは皆、辛いことも多かったが、参加できて本当に良かった!と話してくれた。この辛い気持ちを今後の自分の糧にし、来年度以降のメンバーに受け継ぐことで、メンバーの意識や能力は一段と高くなっていくと思う。模擬国連から学べることは多く、まだまだ色々な意味で大きな可能性を秘めており、その可能性を学内・学外に徐々に広げていきたいと思う。サークルとして、今年学んだことを活かし、来年度は、ハーバード大会で賞が取れるようこれからも頑張っていきたい。

最後に、一からのサークル活動に携わってくれたメンバーの皆さん、そして、私たちの活動に理解を示し、ご協力してくださった方々に感謝をいたしたい。

Message 卒業生だより



留年に感謝。

右 藤 史 剛

勤務先：ソニーセミコンダクタ九州株式会社 熊本TEC

(平成14年3月 創造設計工学専攻修了)

「右藤君、君は必修を落としたために進級が出来ません。」
一度目の大学四年の夏の出来事でした。部活のOBの方の結婚式に出席するために長野へ行き、家へ帰ってきて留守電を聞いた時にその声は部屋に響き渡りました。聞いた時に呆然となり慌てて研究室へ行きました。その時、当時の担当教官の先生に言われた一言を今でも憶えています。

「君の生活態度・学習態度が大学院生としてはまだ足りていないからこういう結果になったのではないですか? “まだ君に大学院は早い”という啓示だと思います。一年間じっくりと力を付けて、来年またチャレンジをしたらどうですか?」

胸にグサリと突き刺さりました。全くもって正論であり、反論のしようのない意見でした。それまでの自分と言えば、大学にはあまり行かず、試験・レポートを適当にこなしてなあなあで進級をしてきた典型的なダメ学生でした。しかし後から解ったことですが、それは大学院では全く通用しません。自分で考え、動き、教えるを乞わないと“研究”と言うものは全く進展しないのです。それから二回目の四年生～大学院卒業までの三年間は、それまでの他人に頼った生活と世の中を舐めきった生活を

を改めて勉学に励みました。もちろん、自分一人でも何でもやってきたと豪語しているわけではありません、他人に“頼る”ことと“協力を得る”ということは違うと言いたいのです。

私は現在ソニーで、デジカメや携帯電話に組み込まれているCCDの開発業務に従事しています。このように、世の中に広く流通している製品の開発に携われているのもあの時の留年のおかげだと思っています。もしあのままストレートに卒業をしていたら、今頃は職を転々としたり、あるいはニートになっていたかもしれません。エンジニアとしての心構えを変えてくれた“留年”に今では感謝をしています(高い授業料でしたが……)。

今、これを読んでいる学生の皆さんの中にも、当時の私のように留年や研究の行き詰まりで落ち込んでいたり悩んでいる学生がいらっしゃると思います。

しかし、長い人生においてつらい時期がいつまでも続くわけではありません。そこを乗り越えたら楽しいことや感動できるような事が沢山待っています。人間万事塞翁が馬です。一度きりの人生の礎を築く学生生活を、無駄にすることなく謳歌してください。



2005年福岡オートサロンにて(筆者左)

教わる立場から、教える立場へ

今 井 慎 一

勤務先：広島商船高等専門学校 
学生課実験実習係

(平成17年3月 電気・電子システム工学専攻修了)

大学院を修了し、母校である広島商船高専の技術職員として着任して、1年の月日が経ちました。私が社会人になり一番最初に困惑したことは、着任した2日後から講義が始まり、新人研修も無いまま、いきなり実験実習の補助についたことでした。他にも、学生時代は講義・研究に関して先生からご指導・ご教示を受けて進めてきましたが、職員となった今は研究の内容も自分で考えなければいけません。また、今度は私が学生を指導する立場になりましたので学習指導だけでなく生活指導等などの指導にも責任を感じています。

次に、授業以外に私自身もロボコンOBということから、高専ロボコンの補助指導員として参加させて

いただきました。昨年度の競技は「大運動会」で名前の通り、ロボットに障害物クリアをさせ、いち早くゴールするという内容でした。ロボコン史上最も難しいテーマで、ほとんどの高専が障害物をクリア出来ないなか、学生たちの努力と頑張りで、地区大会で同校決勝戦となり広島商船高専初の地区優勝を勝ち取ることができました。このことは、この年一番の思い出となりました。

最後になりましたが在学中の皆さんには、大学で学ぶ高度な知識・技術を社会人になった時、結びつけることができるよう有意義な学生生活を送ってもらいたいと思います。



ロボコン全国大会終了後(筆者は後列、左から2番目)

小島学長が名誉教授の称号を授与されました！

小島学長が国際交流の一環として、平成18年3月13日から二日間、中国のハルビン工科大学を訪問しました。今回の訪問では、今後の2大学間の教育・研究連携を拡充することを目的とし、学術交流協定等の締結調印を行うと共に大学間連携の将来構想等について意見交換を行いました。

このことにより、今後の2大学間における研究交流及び学生相互交流等がスムーズ、且つ、有効に運営されることに加え、国際連携教育・研究が益々活発に行われることが約束されました。



名誉教授称号授与風景

また、小島学長がハルビン工科大学から、名誉教授の称号を授与されました。これは、材料工学分野における21世紀COEプログラム等の国際的な研究者としてのリーダーシップ等の業績が讃えられたものです。



広報紙VOSに関するアンケートから

VOS130号において、広報誌の内容について学生の保護者を対象にアンケートを実施し、数々のご意見、ご感想をいただきました。

興味を持った記事

「学生生活アンケート」、「就職コーナー」、「父母懇談会」、「JABEE」、「日報文化賞」など、学生生活や本学の教育・研究関連の記事が多くあげられました。また、「法人化と開学30周年」、「新潟県中越地震から1年」といった、特集記事への高い関心もうかがわれました。

今後、取り上げて欲しい記事

現在も掲載を行っている「就職情報」、「卒業生の活躍」、「インターンシップ」、「各研究室の紹介」などを今後も継続して取り上げてほしいという声が多くありました。また、就職情報に関連し、「企業が今学生に求めているものは何か、学生が企業に対して何ができるのか、OB・OGの体験談を交えて記事にしてほしい」といったご意見や、新たに、「先端技術の解説」や「寮生の様子」などを載せてほしいというご要望をいただきました。その他に、「最近の社会情勢について、学生がどのように考えているか取り上げてほしい」という声も寄せられました。

広報誌を読んでの感想

「学内の活動や様子がわかって興味深い」、「大学生生活の様子がわかって安心できる」といったご感想を多くいただきました。

長岡技術科学大学に関する意見・要望

「行事予定などをメールで配信してほしい」、「HPで大学の情報を一方的に流すのではなく、今回のようなアンケート等の実施により、父母・大学・学生の3者が共通の概念を持てるような連携態勢を築いてほしい」、「長岡技大の名前を全国的に知られるようなPRを」等のご意見をいただきました。

今回のアンケートでいただいた、皆様のご意見やご感想に基づき、今後ますます誌面の充実にも努めていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

平成17年度 就職状況等一覧

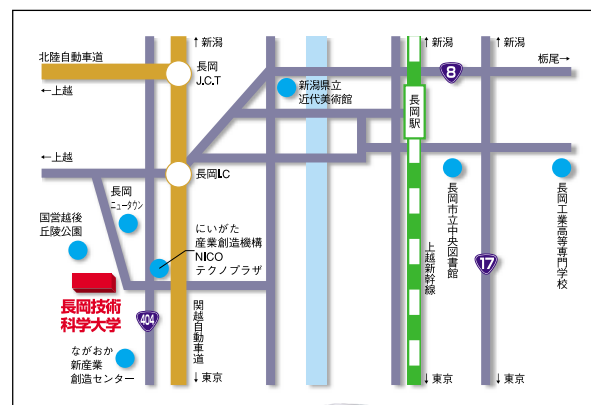
(平成18年3月24日現在)

事 項 課程・専攻	大学院（修士課程）					学 部					求 人 状 況		
	修了者数	就職者数	進学者数	復職者数 自営業	その他	卒業者数	就職者数	進学者数	復職者数 自営業	その他	求人件数	求人数	求人倍率
機 械 創 造 工 学	87	77	4	5	1	101	22	75		4	3,038	1,657	16.1
機 械 シ ス テ ム 工 学	4	3	1										
創 造 設 計 工 学	5	1	1		3								
電 気 電 子 情 報 工 学	81	78	1		2	122	21	97		4		1,645	16.0
電 気 ・ 電 子 シ ス テ ム 工 学	4	2	1		1								
電 子 機 器 工 学	5	2			3								
材 料 開 発 工 学	38	28	3	2	5	47	3	44				1,107	35.7
建 設 工 学	35	31	1	1	2	46	11	32		3		1,135	12.6
環 境 シ ス テ ム 工 学	48	40	6		2	48	8	39	1			1,075	26.2
生 物 機 能 工 学	41	35	5		1	44	6	35	1	2		1,089	33.0
経 営 情 報 シ ス テ ム 工 学	31	25	4		2	35	8	25		2		7,708	19.2
計	379	322	27	8	22	443	79	347	2	15			

事 項 専 攻	大学院（博士後期課程）			
	修了者数	就職者数	復職者数	その他
情 報 ・ 制 御 工 学	7	6		1
材 料 工 学	10	7	1	2
エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 工 学	11	4	4	3
計	28	17	5	6

注）年度途中修了者を含む。

長岡技術科学大学 CAMPUS MAP



ACCESS

- 東京から上越新幹線約90分
- 長岡駅大手口から
[バス] 技大前行乗車約30分
[タクシー] 8.5km, 約20分
- 関越自動車道
北陸自動車道
長岡I.C.から約5分

長生橋と雁木（がんぎ）の町並み（長岡市山田1丁目）

樋 口 秀（環境・建設系 助教授）

技大から長岡駅に向かう途中、信濃川を渡る長生橋の東詰に広がる地域が山田町である。市制・町村制が公布された翌年の明治22年（1889）に長岡町が誕生したが、山田町はすでにその一部であった。^{*1} 古くは慶長10年（1605）に長生橋のあたりに渡し場ができ、長岡から西山を越えて北陸道から（又は直江津港より海路で）京都へ通じる道として重要な地域となっており、そのころから山田町には茶屋（飲食店）、餅屋、塩物屋などが沢山あったようである。

長生橋はもともと木橋であり、明治9年（1876）に完成している。東西500mの橋と小橋の2本が大きな中州でつながっていた。当初は有料で人間1人8厘であったという。現在の160円ほどにあたろうか。^{*2} 洪水によって流された翌年の大正4年には1本の橋になり、昭和12年（1937）には現在の橋、長さ850m、ケーソン基礎を用いたゲルバートラス橋が完成している。約70年を経た今も市民の重要な交通を支え、長岡祭りでの日本一の大花火にもこの橋が欠かせない。なお、長生橋の歩道橋はずっと後の昭和47年に完成している。無料なので往時を偲びながら一度は歩いて渡ってもよいだろう。

山田町には比較的雁木がよく残っている。雁木は、長岡市をはじめ東北や北陸の雪国都市の中心市街地に見られる歩行空間であり、その上部の構造体（庇など）

を表す言葉でもある。冬季だけではなく、暑い夏の日よけや急な雨の雨宿りなどがありがたさは年中感じることが出来る。一般には私有地の一部を通路として開放したものであり、これが連なることで半公共空間が誕生する。個人個人がそれぞれ建設しているため高さや構造がまちまちなのも特徴である。戦争によって市街地の殆どが焼失した際に道路が拡幅されて民地が狭くなったため、長岡市独自の手法として、公有地に個人所有の雁木が建築されている。「公」という概念の再考が求められている現在、私有財産を使って公共の役に立つことをするという「雁木」の持つ意味は大きい。しかし、個人の善意のみに支えられているため、年を追うごとに雁木が減少しているのが残念でならない。

最後に、空襲後の当時の航空写真が中心市街地にある「まちなか考房」の戦災資料館に展示されている。現在の市街地は戦後、先人たちがほぼゼロから作り上げてきたものと再認識させられるだろう。

昔ながらのお店や風景にふれ、まちなかの人々の思いや歴史を感じながら雁木の下を歩いてみるのも面白い。

参考文献：金佛尊鎮座二百周年記念－山田1丁目町内史、山田1丁目町内史編纂委員会、1984



雁木と切り妻・妻入りの町並み（H18.1筆者撮影）



積雪時の歩行空間を確保した雁木通り（H18.1筆者撮影）

- ※1 山田町は、昭和35年に山田町1丁目と2丁目になり、昭和43年に住居表示法で山田1丁目となった。
- ※2 明治39年（1906）には市制を施行し長岡市となった。今年（2006）は市制100周年記念の年である。
- ※3 当時米一升の値段が3銭であったという。現在の値段（4000円/10kg）で計算した。

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いろんな希望や夢を胸に秘められていると思いますが、是非その夢の実現のために、技大での数年間を有意義に過ごしてください。これからの数年間が、その後の数十年間の生き方に大きな影響を与えるはずです。食欲に知識を吸収し、自分の可能性を信じて、主体的に自分の能力を磨いてください。（編集委員）



2006年10月1日
開学30周年を迎えます。

VOS133号（平成18年4月）
編集発行／長岡技術科学大学広報委員会（総務部 総務課）
＊本誌に対するご意見等は下記までお寄せください。
〒940-2188 長岡市上富岡町1603-1
Tel.0258-47-9209 Fax.0258-47-9000
E-mail skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp
U R L : <http://www.nagaokaut.ac.jp/>

VOSの由来

本学のモットーである、Vitality, Originality, Servicesの頭文字をとって、本学初代学長の故川上正光氏により名付けられました。